

第 124 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 30 年 6 月 24 日（日） 13 時 30 分～15 時 00 分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 6 名
出席委員の氏名 堂園 孝美 木村 敏彦 大橋 民男
欠席委員の氏名 児玉 昭義 島田 貴司 小島 隆雄
放送事業者側出席 中丸 宗幸 須藤 一郎
4. 議題
 1. 番組編成に関して
 2. その他
5. 議事の概要 議題に対する答申
6. 審議の内容
議 長：中丸 宗幸代行、出欠席者の確認。
本日の審議事項の発議を提案して会議に入った。
会社側委員：「シーサイドステーション」及び「シーサイドカフェ」の体制が更新されて 2 ヶ月経過しました。
委 員：朝生帯の新任パーソナリティーを含むスタッフも、スタジオの環境に慣れて順調に番組が進行されてきたと思いますが、時に不手際も散見されますので、番組の品位向上に留意ください。
会社側委員：各曜日担当の新任パーソナリティーの個性プラス鎌倉エフエムの個性にも留意しながら番組の向上に努めます。行政情報や防犯防災に関する情報などは専任の担当者が引き続きコーディネートしてまいります。
委 員：地域に密着した様々な情報を伝えるのはコミュニティエフエム放送の重要なミッションですから生番組ならではの対応にも留意ください。
会社側委員：限られたマンパワーでの番組進行には小回りのきくポジティブな面とワンマンDJのようなタレント性も要求されます。特に生番組ではリアルタイムの空間をリスナーと共有するという側面もあって緊張します。収録番組にはないリアルタイムの雰囲気が生放送の醍醐味でもあると思いますが。
委 員：収録番組の「親父のカントリー」や「ウクレレステーション」などは鎌倉ならではの好番組で好評価できると思います。
会社側委員：前回も申し上げましたが、地域の多くの方々が参画できる番組や地域の様々な情報発信のツールとしての立ち位置を再認識して地域の皆様に愛される番組創りに邁進します。
委 員：今後の展開に期待します。
会社側委員：本日は有り難うございました。
7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し
8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開
9. その他の参考事項 な し
以 上